人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の健診情報などをこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

≪試料・情報の利用目的及び利用方法≫	●研究の名称 浜松ウエルネスプロジェクトによる健康ビッグデータ分析
	●研究の対象 2006 年～2025 年 3 月までの期間に聖隷福祉事業団による健診（人間ドック等を含む）を受けた方　約 80 万人
	●研究の目的 浜松市民の健康寿命が長い理由を明らかにすること、具体的には健診異常や生活習慣の状況を明らかにすることが目的です。 さらに、地域等の属性毎の特徴や、生活習慣等によって検査異常や病気の発生がどのように違うかを明らかにすることも目的です。
	●研究の期間 研究機関の長による実施承認日から 2028 年 3 月まで
	●他の機関に提供する場合には、その方法 データの提供は、どなたのデータか識別できないように加工した状態で記憶媒体（ＤＶＤ等）に保存し、パスワードをかけて、郵送または手渡しをして、特定の関係者以外はアクセスできない状態で行います。
≪利用し、又は提供する試料・情報の項目≫	●研究に使用する試料・情報 生活習慣や健診の検査結果　等
≪利用する者の範囲≫	●機関名および責任者名 浜松医科大学　　尾島俊之 聖隷福祉事業団　武藤繁貴 静岡大学　　梶原千里 東北大学　　荒木由布子 京都大学　　中山健夫

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

≪試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称≫	国立大学法人 浜松医科大学
≪試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）≫	あなたの情報を研究に使用することや、あなたの情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、どなたのデータか識別できないように加工して分析が開始される前であれば使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話またはメールでお願いします。
≪資料の入手または閲覧≫	この研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。
≪情報の開示≫	この研究は、どなたのデータか識別することができないように加工した情報を用いて分析を行うため、個人の結果について情報の開示を希望された場合、申し訳ありませんが対応することができません。
≪問い合わせ先≫	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名：　健康社会医学講座 担当者：　尾島俊之 TEL：　053−435−2333 E-mail：　dph@hama-med.ac.jp